



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '97 7月号

## 夏期特別展 「農家の四季」



会期：7月19日(土)～8月31日(日)

わたしたちが毎日元気でいられるのもお百姓さんのおかげ。だれも農業と無関係に生きることはできません。今回の展示は、機械化される以前、すべてを手作業と牛馬の力で行っていた頃の農業がテーマです。当時の暮らしを支えた懐かしの農具を特別展示室いっぱい展示します。どんな作業にどう使うのか、同じような農具でも微妙な違いがあるのはなぜか、ぜひ、じっくりご覧になってください。

展示資料は、稲作用具をはじめ、畑作用具、脱穀選別用具、運搬具、藁加工用具、野良着、農作業写真パネルなどに加え、農耕儀礼など農事に関わる信仰関係の実物資料や写真パネルなどで、総数300点あまりにものぼります。この機会に、農家に受け継がれている伝統的な暮らしへの理解を深めていただければ幸いに思います。

### 記念行事

#### 講演会

「稲作と畑作の農耕文化」

水田稲作を中心にする平塚市と畑作および養蚕が農業の中心だった相模原市とは、同じ神奈川県内でも農業の形態が異なります。両市の比較を通して、稲作地域、畑作地域それぞれが持つ農耕文化の特徴について考えます。

日時：8月10日(日)午後1時30分～3時30分

講師：加藤隆志氏(相模原市立博物館学芸員)

会場：博物館講堂

参加：自由

#### 体験学習「わらじを作って大山参り」

実際に自分の手で編んだわらじを履いて、盆山中の大山へ参拝します。

「ワラジ作り」

日時：8月9日(土)午前9時30分～午後4時

場所：博物館科学教室

「大山参り」

茶湯寺や大山寺など大山参道の史跡を見学し、わらじを履いて女坂を登り、下社で解散予定です。

日時：8月16日(土)午前8時30分～午後3時

場所：子易～大山阿夫利神社下社

\*定員：30名(2回とも参加できる方に限ります)

\*申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「大山参り」係へ

\*切：7月25日(金)

# 農耕儀礼と作神

人間の力が及ばないとき、あるいは何か危機に直面したとき、人はおのずと心の中のカミに祈ります。このときのカミは具体的な姿を伴う神かもしれませんが、あるいは抽象的な存在かもしれません。あるいは死んだおじいちゃんかもしれません。現代を生きる私たちだって常に心の中のカミに問いかけながら物事を決断したり、ご加護を求めたりしているのですから、科学が十分に発達していなかった頃、しかも自然相手ゆえ作物の出来具合は天候によって左右される農業は、カミの力を頼らずにはいられなかったといえるでしょう。

作物の無事成長を祈願したり、豊作を感謝する気持ちが儀礼となって今日に伝わっているのが農耕儀礼と呼ばれるものです。この農耕儀礼を通して田畑のカミについて整理してみましょう。

正月に迎えるカミは年神といわれます。臼と杵や鍬などの主要な農具には一文飾りがつけられます。農具に年神を宿し、新たな霊力を備えさせようとする気持ちが込められていると思います。

四日のウナイ初めは田畑へ行って、オソナエと一文飾りを供えて豊作を祈願します。これも田畑へ年神を迎える行事と解釈できるでしょう。

小正月には藪玉、ケズリカケ、粟穂などいずれも作物が稔る様を象った予祝儀礼が行われます。このうち、ケズリカケは屋内外の神々に供えたのちセエトバライや初午でお焚きあげしますが、年神に供えたケズリカケだけは神棚にずっとあげておき、春になって種籾を蒔き終えた日に苗代の水口に立て、焼き米とともに供えます。ケズリカケには大山や氏神社のお札を挿しました。

田植えに際して取った苗を束ねる藁は、ネエバといって特別に選りすぐった藁を使い、神聖視されました。ネエバには年神棚に飾ったクミダレと呼ぶお飾りをほぐして混ぜると縁起がよいといわれ、田植えまでとっておく家もありました。苗代の播種祝いのケズリカケと、このクミダレのネエバは、いずれも年神を田に降臨させ、稲の生育を見守ってもらう意味があるといえます。

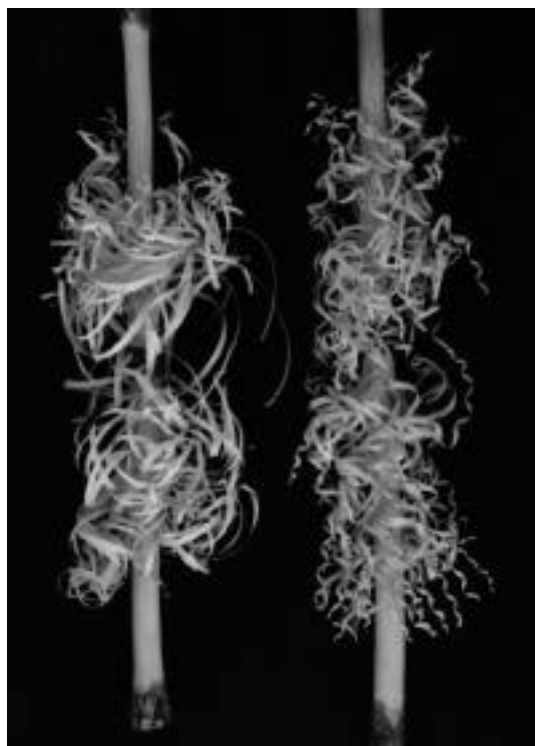
田の神節供と呼ばれる秋の行事があります。名称からは稲作儀礼のようですが、内容は大根の成長を祝う畑作儀礼の意味合いの濃い行事です。むしろ、平塚で田の神的な存在として拠り所にされた神の筆頭には、まず年神が挙げられます。

田植え終了の祝いであるウエアゲには、荒神に苗を供えます。荒神にはまた、稲刈り祝いのカリアゲのときに鎌を供えます。荒神は台所の火の神ですから、食物を司る神ともいえます。苗を供えて豊作を祈願するのもごく自然といえましょう。

畑の神は、一般に地の神様といわれます。社日に鍬をいじると地の神の頭を傷つけるとか、地神講で当たった鍬を使うと豊作になるといいます。

以上のことから年神、荒神、地神は作神としてお百姓さんの拠り所にされた代表的な神といってい良いでしょう。この他には、去来伝承を伴うエビス神にも作神の要素がいくらかあり、雨乞いの神としてはもとより農耕全般の神として崇められた大山、オールマイティー

な神である大神宮と氏神も当然いつも見守ってくれているはずで



ケズリカケ



荒神さんに供えられたウエアゲの苗

# 夏の行事案内

## 体験学習

### 「縄文土器を作ろう」

期日：8月6・7・8日、27日

場所：博物館科学教室

内容：土器を作って古代人の生活と知恵を学びます。

申込：7月20日までに往復ハガキで。

材料費：500円

4日間連続で参加できる方に限ります。

### 「地形模型を作ろう」

期日：8月21・22・26日

場所：博物館科学教室

内容：地図を使って丹沢東部の立体模型を作り、地形に親しみます。

申込：8月5日までに往復ハガキで。定員30名。

参加費：1600円

3日間参加できる方に限ります。

## こども観察会

### 溪流の動物の観察

期日：8月9日(土)

時間：9時～15時

場所：日向川付近

内容：溪流の動物の観察をします。

申込：7月31日までに往復ハガキで。

## 自然観察入門講座

### 貝化石を調べよう

期日：8月1日(金)、3日(日)、9日(土)

場所：大磯町、博物館

内容：野外で化石を採集し、室内で整理し、化石からなにがわかるかをまとめます。

申込：7月18日(金)までに往復ハガキで。

3日間参加できる方に限ります。

## 自然観察ゼミナール

### セミのぬけがら入門

日程：7月26日(午前) 8月7(夜)・13日(午前)

場所：高麗山、博物館など

内容：セミの羽化の観察やぬけがら調べ

申込：7月15日までに往復ハガキで。

3日間参加できる方に限ります。

## 星を見る会

### 夏の星空に親しもう

期日：8月7日、14日、21日

時間：19時から20時30分まで

場所：博物館科学教室、屋上

内容：夏の星空に広がる星座や月、惑星等を望遠鏡で観察します。

参加自由。当日博物館科学教室にお集まりください。ただし、雨天、曇天時は中止とします。

## プラネタリウム

### 「かんむり座物語」

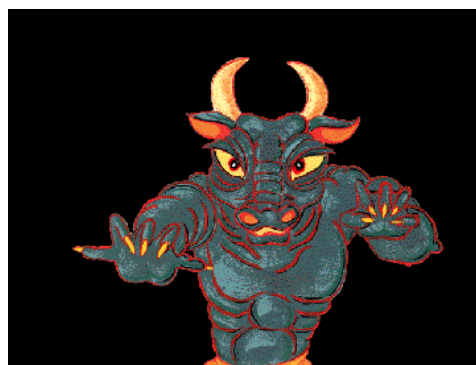
かんむり座はクレタ王女アリアドネのかんむりが空に上ったものといわれます。ギリシャ神話を題材に、星座にまつわるクレタ王家の悲劇を紹介します。

・期間：7月19日(土)～9月7日(日)

・投影日時：土・日曜日の午前11時と午後2時

夏休み期間中は水・木曜日も投影します。

・観覧料：100円



ミノタウロス

## 自由研究相談会

期日：7月25日、8月20日

時間：9時から12時まで

場所：博物館科学教室

内容：夏休みに取り組む自由研究の進め方、採集した標本の鑑定、記録の取り方、などの相談に各分野の担当学芸員が応じます。

## 漂着物を拾う会

期日：7月12日(土)

時間：午前9時半

場所：花水川平塚側河口

参加自由

# 博物館カレンダー

## 7月の行事予定

6	日	地質調査会 みんなで調べよう(まとめ)	(館内)
10	木	石仏を調べる会	
12	土	古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会 ◎ 漂着物を拾う会 地質調査会	(館内) (館内)
13	日	民俗探訪会	(八王子)
16	水	地質調査会 裏打ちの会	(館内)
19	土	夏期特別展「農家の四季」8月31日まで プラネタリウム かんむり座物語9月7日まで 平塚の空襲と戦災を記録する会	
20	日	相模川の生い立ちを探る会	(富士山)
24	木	石仏を調べる会	
25	金	◎ 自由研究相談会	(館内)
26	土	古文書講読会 ○ 自然観察ゼミナール	
27	日	古代遺跡を探す会	
31	木	特別展期間中につき開館します	

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

## 8月の行事予定

1	金	○ 自然観察入門講座	
2	土	天体観察会 スターウォッチング	
3	日	天体観察会 スターウォッチング 自然観察入門講座	
6	水	○ 体験学習 縄文土器	(館内)
7	木	○ 体験学習 縄文土器 ○ 自然観察ゼミナール(セミのぬけがら) ◎ 星を見る会	
8	金	○ 体験学習 縄文土器 ○ みんなで調べよう(まとめ)	
9	土	古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会 ○ こども観察会 大山参り(特別展開連行事) 自然観察入門講座	(館内) (大山)
10	日	民俗探訪会 ◎ 特別展記念講演会	(館内) (館内)
12	火	天体観察会 流星群の観察13日まで	(函南)
13	水	○ 自然観察ゼミナール(セミのぬけがら)	
14	木	石仏を調べる会 ◎ 星を見る会	
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 ○ 大山参り(特別展開連行事)	
17	日	相模川の生い立ちを探る会	(西沢)
20	水	◎ 自由研究相談会	
21	木	○ 体験学習 地形模型 ◎ 星を見る会	
22	金	○ 体験学習 地形模型	
23	土	古文書講読会 地質調査会	
24	日	古代遺跡を探す会	
26	火	○ 体験学習 地形模型	
27	水	地質調査会 ○ 体験学習 縄文土器	
28	木	石仏を調べる会	
31	日	特別展期間中につき開館します	

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

### ● 寄贈品コーナー

#### ● 「平塚の空襲と戦災展」

平塚が受けた戦争被害の記録と当時の資料を公開します。

・会期：6月13日(金)～7月18日(金)

#### ● 「養蚕展」

養蚕道具や絹の着物を展示します。

・会期：7月19日(土)～9月12日(金)

#### ☆ イブニングミュージアムのお知らせ

特別展開催期間中の金曜日は、午後7時まで開館します。

#### ☆ 7月31日、8月31日は開館します

特別展開催期間中の月末は開館します。

ただし、プラネタリウム投影はありません。

## あなたと博物館

22巻 4号 通巻245号 発行 平塚市博物館 3000

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949